

稲美町



変わらず、いいところ。いなみ。



稲美町
町制施行70周年
記念要覧



変わらず、
いいところ。
いなみ。

令和7（2025）年で

町制施行70周年を迎えた稲美町。

昔から変わることなく

大切にされてきた自然とともに

人のつながりが

このまちの最大の魅力です。

今も昔も変わらない

住民の「愛」。

これからも変わらずに

愛を育みます。



Contents

- 3 いなみ魅力発見！
- 5 わたしのいなみ愛
- 7 第6次稲美町総合計画
「ともにつくる 未来へつなぐ 稲美町」
- 19 思いをつなぐ 稲美の文化
- 21 稲美ブランド
- 23 移住者interview いなみ暮らし
- 25 稲美町70年のあゆみ
- 28 INAMI INFO
- 30 ごあいさつ

スマートフォンやタブレットで二次元コードを読み込み。上下左右に動かして楽しみましょう。



360°VR

特別支援学校数

高等学校数

中学校数

小学校数

幼稚園数

保育施設数

人口

(令和7年5月31日現在)

1校

1校

2校

5校

5園

6園

30,355人

面積

1世帯当たりの
平均人数
2.28人

世帯数

(令和7年5月31日現在)



男性

女性

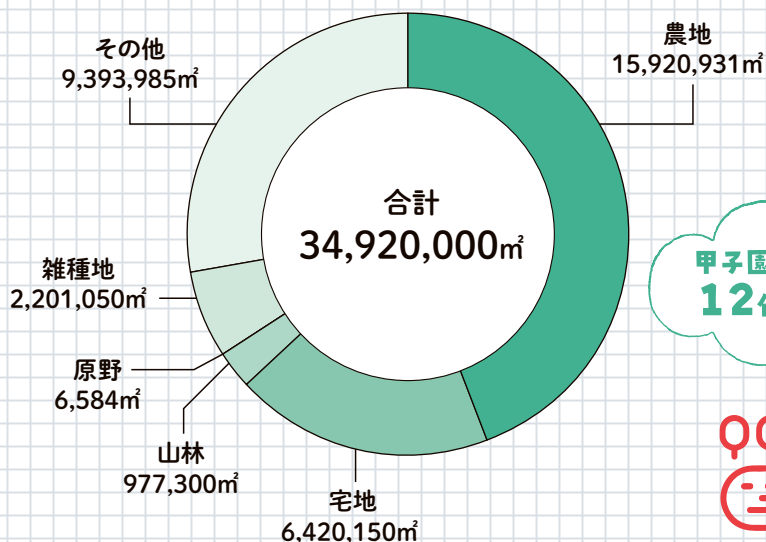
34.92 km²

13,321 世帯

14,907人 15,448人

地目別土地面積

(令和6年1月1日現在)



ため池の数

88個

稲美町には、
ため池が
たくさん

兵庫県で一番大きなため池

加古大池

甲子園球場
12個分!

兵庫県で一番古いたため池

天満大池

伝統的な
お祭りが
行われます!

Data of INAMI

いなみ
魅力発見!

稲美町のさまざまな魅力を
数字に表してみると
住み心地の良さなどにも
改めて気づくことができます。

兵庫県で
一番多い!

六条大麦の生産面積



370.26_{ha}

播州葡萄園跡は、
国指定史跡にも
選ばれています

指定文化財数

17件

兵庫県で
一番安い!

介護保険料

5,100円/月



都市圏へのアクセス良し!

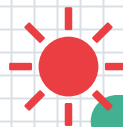


※JRでの所要時間はJR土山駅から各主要駅までの時間

姫路まで 車で25分 JRで20分

神戸まで 車で45分 JRで35分

大阪まで 車で75分 JRで60分

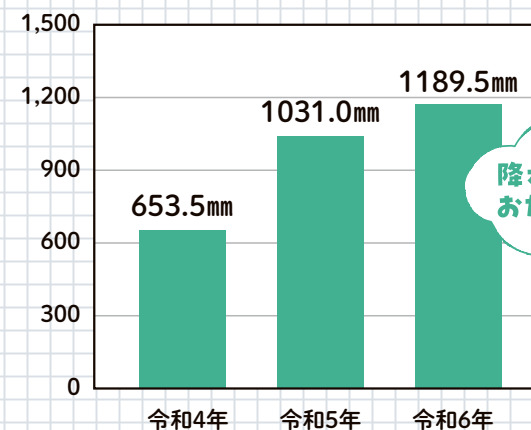


気温

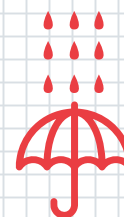
(令和6年三木観測所データ)

16.3℃

降水量



降水量は少なく
おだやかな気候



稲美町の住みやすさ

住みやすいと
感じている人の割合

73.6%



稲美町への愛着

稲美町に愛着を
感じている人の割合

57.4%



今後の居住意向

住み続けたいと
答えた人の割合

85.1%

暮らしの良さに定評あり!

※住民アンケート調査(令和6年)

地域の交流の場が多くて、
たくさんの人と関われる！

松本 響亮さん



遠くまで見渡せる
景色が落ち着きます

廣石さんご家族



平和な
まちです

井上 幸一さん



稲美町で作られた
野菜がおいしい！

蓮佛 音和さん
蓮佛 友成さん



公園がたくさんあって
こどもにも親にも
優しいまちです

鈴木 真梨花さん



麦と米の実がなる
季節は絶景です

竹本 茂夫さん



人との
つながりが
あったかい

山崎 秀之さん



あい
愛

稲美町に住むみなさんの、
いなみ「愛」を聞いてみました。
たのしかった。

わたしの いなみ

鶴さん親子



自然が豊かで
子育てが
しやすいです！

のどかでゆっくり
過ごせる
最高の場所！

竹田 義行さん



健康づくり施設が
充実しています

菅原 博春さん



住みやすい
まちです

イベントが
いっぱい！
たのしい！

澤田 希実さん
澤田 藍那さん



子育てするのに
ぴったりな
まちです

自然がいっぱいで、
空気がおいしい！

鳴瀬 灯さん



助けあいや
思いやりの精神
があるまちです

松本 美穂さん

イーナ

ミーナ



コウノトリ

町内のため池には、国の特別天然記念物のコウノトリが飛来します。令和5(2023)年4月には稲美町で播磨地域初となるヒナが誕生。親鳥2羽の愛称を募集し、イーナ(オス)とミーナ(メス)に決定しました。

第6次稲美町総合計画

住む人、訪れる人の心に豊かさと安らぎを与える
稲美町の美しい水と緑や歴史・文化。

これらに愛着と誇りをもちながら
ともに暮らし、ともに学び、ともに支えあい
次の時代につなげるまちづくりを進めています。



基本目標

1

緑豊かな 自然と調和した 安心して暮らせるまち

調和のとれた土地利用の推進や暮らし
の基盤を整備し、快適に暮らせるまち
をめざします。また、自然環境の保全
や防災・防犯体制の整備を行い、安全
で安心して暮らせるまちをめざします。

未来へつなぐ 町

基本目標

2

だれもが健やかに 地域で暮らせるまち

安心して子育てができる環境の整備や
保健・医療・福祉の充実を進め、だれ
もが健やかに暮らせるまちをめざしま
す。また、地域ぐるみの福祉を推進し、
安心して暮らせるまちをめざします。



基本目標

5

ともに進める 持続可能なまち

協働のまちづくりを進め、地域や広域での交流・連携を推進し、多様な主体と行政がともに進めるまちをめざします。また、効率的で健全な行財政運営による持続可能なまちをめざします。



生涯にわたる 学びを充実し 夢と志を育むまち

学校教育や教育環境の充実により、きめ細かな教育を推進し、こどもの夢と志を育むまちをめざします。また、生涯学習や人権学習などを推進し、お互いを認めあうことのできる地域と人を育むまちをめざします。

基本目標

3

基本理念

ともにつくる 稲美

地域の特性をいかした 活力と魅力あるまち

持続可能な農業を振興するとともに、地域経済の振興と労働者福祉の向上を図り、活力あるまちをめざします。また、魅力ある交流と観光を推進し、にぎわいのあるまちをめざします。

基本目標

4



緑豊かな自然と 調和した安心して 暮らせるまち



〔稲美中央公園〕

こども向けの大型遊具やインクルーシブデザイン遊具があるこどもの国をはじめ、多目的グラウンドやテニスコート、野外活動センターなどがある総合公園。



〔田園とため池に囲まれた 自然豊かな暮らし〕

古くは水に恵まれない台地であったこの地域を先人たちが切り拓き、ため池や疏水(そすい)を完成させ、水田開発を進めてきました。現在、ため池などの水辺の空間は、人々の生活を支えるとともに憩いの場にもなっています。



印南・野谷・野寺の上空

毎日の暮らしに寄り添う 日本の原風景

町内には水田開発のために築造されたため池が88カ所あり、「ため池百選」に選ばれた天満大池や県内最大の満水面積を誇る加古大池があります。また、ため池や水路、水田、集落などによって構成された町特有の景観は、まさに日本の原風景ともいえ、文化庁から「稲美町のため池群」として文化的景観における180カ所の一つに選ばれています。稲美町特有の美しい風景や自然環境をいつまでも変えることなく未来に継承できるよう、調和のとれた土地利用の推進や自然豊かな環境の保全などに取り組んでいます。



〔地域の見守り体制〕

登下校の時間帯に行う交通安全の見守り活動や、見守り機能付き防犯カメラの整備など、地域の安全に取り組んでいます。



こんな補助金制度があります！

町内出身者などの子世帯が親元に住宅を取得する場合に交付する「親元近居住宅取得等支援補助金（親元に住もう補助金）」や、町内で新生活を始める新婚世帯に対して交付する「結婚新生活支援補助金」などがあります。

住まいに関する 各種補助金制度が充実

家賃などを最大18万円補助する「お試し居住補助金」や、空き家改修に対して補助する「空き家活用支援事業」などの制度があります。

災害に強いまち

消防団や自主防災組織が行うさまざまな訓練などを通じて、みんなで地域を守っていくとする意識を高めています。



いつも見守り活動をしてくださる方へ

稲美町は自然が豊かで、コウノトリがたくさんやってきます。通学途中でも見かけるようになりました。朝、見守り活動の人と一緒にいろいろな話をしながら学校へ行くのが楽しいです。いつもありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

稲美町内小学生
藤原 れなさん



いのちの
つながり
愛

元気に登校しているみんなへ

当時、幼稚園児だった孫と一緒に歩くようになったのがきっかけで、活動に取り組んで15年になります。道路では、近隣の住民が安全運転を心がけてくれます。こどもたちには、元気にあいさつをして楽しく登校してほしいですね。

見守り活動をする
藤原 克幸さん

安全でおいしい水

地下水を主な水源とする水道水は、厚生労働省の「おいしい水」の要件を満たしており、住民からも「とってもおいしい」と評判です。



すべての世代に行き届く
地域ぐるみの福祉を推進

安心して妊娠・出産・子育てができる社会の実現や、だれもが安心して暮らせる地域共生社会の実現をめざし、まちづくりを進めています。

子育ての分野では、すべての子どもが心身ともに健やかに育つことができるよう、地域社会全体で子育てとその支援に取り組んでいます。

福祉や健康の分野では、社会福祉協議会などと連携することで、多様な担い手が参画し、住民が主体的に支えあう地域共生社会の実現をめざすとともに、特定健康診査などの保健事業や高齢者が集う「いきいき広場」などの介護予防事業に取り組んでいます。

住民の健康意識の高揚と自主的な健康づくり活動の促進を基本に、ライフステージにおける保健サービスの一層の充実を図ります。

だれもが健やかに 地域で暮らせるまち

のびのび
暮らせる
いなみが好き!



{ 乳幼児健康診査 }

4カ月、10カ月、1歳6カ月、3歳児を対象に医師による診察や、保健師による成長発達・育児相談などを実施します。



{ こんにちは 赤ちゃん訪問 }

赤ちゃんがいる家庭を助産師・保健師が訪問し、乳児の健康状態のチェックや育児に関するアドバイスをを行うなど、細かくサポートします。



{ いなみっこ広場 }

えほんコーナー・赤ちゃんコーナーがある遊戯室やプレイルームなどがあり、こどもたちや子育て中の家族が自由に遊ぶことができます。





カフェつくし

いきがい創造センター内にある、喫茶・軽食が楽しめる喫茶コーナー。地域の人とのふれあいを深めながら、就労支援の場として、障がいのある人とともに営業しています。



いきいき広場

町が主催する介護予防事業で、高齢者が地域の公民館などでゆっくりと一日を過ごします。参加者やスタッフが親密になり、地域の活性化につながっています。

いなみアクアプラザ

幼児から高齢者までを対象として、プール・ジム・健康機器を活用したスポーツ振興プログラムなど、健康づくりやスポーツに取り組める施設です。

子育てに心強い
支援がたくさん!

いなみっこ広場の 職員の方へ

いなみっこ広場のみなさんには、いつも笑顔であたたかく接していただいて、本当に感謝しています。広場はさまざまなイベントがあり、ママたちと情報交換や交流ができます。こどもたちも協調性を育むよい機会になっていると感じています。

いなみっこ広場に通う親子
茂川 菜々美さん・凜ちゃん



稲美町で子育て中の 保護者の方とお子さんへ

いなみっこ広場は、親子でゆっくりと安心して遊べる施設。利用して下さる人に寄り添いながら、より魅力ある広場になるよう職員みんなががんばっています。笑顔いっぱいのスタッフが待っていますので、ぜひお気軽に遊びにきてください。

いなみっこ広場職員
前川 さやかさん

出産祝いに 共通商品券プレゼント!

赤ちゃんの誕生を祝い、稲美町共通商品券をプレゼント。こどもを産み育てやすい環境づくりを推進しています。

こどもの医療費は 18歳まで無料!

18歳になった後の最初の3月31日まで、入院・通院ともに医療費が無料です。こどもが病気やけがをしても、安心して医療を受けられます。

任意の予防接種の 費用を助成

おたふくかぜや季節性インフルエンザ、三種混合の任意予防接種の費用の一部を助成。男性へのHPVワクチン接種も助成しています。

不妊・不育症 治療費を助成

不妊・不育症の検査・治療を受けられた人に対し、経済的な負担の軽減を図るため、検査・治療費用の一部を助成しています。



おいしい給食

平成20(2008)年から10年連続で近畿農政局長賞を受賞。特産米「万葉の香」をはじめ、野菜もできる限り町内産のものを使っています。

なんでも
学べる環境が
好き!



生涯にわたる 学びを充実し 夢と志を育むまち

いくつになっても
自分らしく学べるまち

稲美町の未来を担う子どもたちがいきいきと健やかに成長できるよう、学校や家庭、地域が一体となって、教育の環境づくりに取り組んでいます。学校教育では、地元の食材をふんだんに使った小・中学校の給食をはじめ、ICTを活用した授業、学校・家庭・地域の連携でこどもを育むコミュニティ・スクールの導入など、多様なニーズに対応した教育を展開しています。また、いくつになっても自分らしく学び、夢と志を育めるよう、生涯学習など地域での学びの場を充実させています。



多文化交流

国際交流協会などと連携し、さまざまな交流事業を行い、多文化共生社会の実現をめざしています。



アーバンスポーツ施設

令和8年度完成予定。スケートボードパークや3x3のコートが整備されます。

いなみ文化の森

町の生涯学習・文化振興の中心でコスモホール、図書館、ふれあい交流館がある複合施設です。



コミュニティ・スクール

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）制度を導入し、学校・家庭・地域が目標を共有することで、一体となって子どもたちを育てています。



ICTを活用した授業

「情報の科学的な理解」「情報活用の実践力」「情報社会に参画する態度」の三つの観点を学び、発達段階に応じた情報教育を進めています。



兵庫稲美少年少女合唱団

全国各地でのコンサートをはじめ、海外の合唱団との交流を深めるなど、音楽を通して豊かな心や生きる力を培っています。



地域未来塾

地域住民と小学校教員が学習支援員となり、小学生を対象に行う個別指導で、学力向上や学習習慣の定着をめざしています。



スポーツクラブ21 いなみ

「いつでも・だれでも・お気軽に」を合言葉に、「スポーツによる元気なまちづくり」をめざして各種スポーツ種目を開催しています。

給食を食べてくれているみんなへ

稲美町の恵みをたくさん使い、みんなが健康に過ごせるように給食の献立を作成しています。地産地消にこだわった自校直営方式の給食や食育の授業などを通して、子どもたちに食への興味を持ってもらい、稲美町のことを好きになってほしいですね。

栄養教諭
佐用 エリカさん

いなみの
つながり
愛

給食に携わっておられる栄養教諭の先生へ

「とてもおいしい」と評判の学校給食は、地産地消がふんだんに取り入れられています。「親子給食」などの場で、アレルギー対応や栄養価、安全性などがとても考慮されていることを知りました。いつも献立を作成されている栄養教諭の先生に感謝しています。

保護者
北谷 真里江さん

トライやる・ウィーク

中学生が事業所での活動を通じて、働くことの意義や楽しさを実感し、社会の一員としての自覚を高めるなど、「生きる力」を育てています。



地域の特性を いかした活力と 魅力あるまち

おいしい
野菜が
いっぱい!



豊かな農業資源をいかし
にぎわいを創出

かつて、水に恵まれない台地
だった「いなみ野」の地域を先人た
ちが切り拓き、明治以降、淡河川
や山田川（をすい）疏水の完成によって水田
開発が進み、稲穂に満ちた美しい
まちの礎が築かれました。現在、
稲美町ではため池と田園風景が広
がる豊かな自然環境の中、地域の

特性をいかした農業の振興に取り
組んでいます。新たな農業の担い
手の確保や生産性を高めるとと
もに、スマート農業や6次産業化
を推進し、持続可能な農業をめざ
しているほか、地産地消を進め、
食と農の安全確保に努めていま
す。また、地域資源や魅力を積極
的に発信し、さまざまなイベント
の展開など、魅力ある交流・観光
の推進に取り組んでいます。



いにしろふあ～みん

新鮮な野菜や特産品を購入できる
近畿最大級の農産物直売所。生産
から販売、加工までを一体的に行う
6次産業化の拠点となっています。





【 地産地消の取組 】

地元産農産物の学校給食への積極的な活用や、稲美町産の果物を使用した洋菓子店がオープンするなど、地産地消が浸透しています。



【 こがね 黄金色に輝く麦畑 】

稲美町がある東播磨地域は、日本有数の大麦の産地。収穫前、初夏の日差しを浴びて畑一面が黄金色に美しく輝く「麦秋」の風景が広がります。



【 いなみ朝市 】

毎週土曜日の朝、「ふぁ～みんSHOPいなみ」の駐車場で、とれたての野菜や切り花などを直接購入することができます。



【 新規就農者育成 総合対策 】

新規就農者が利用できる「経営開始資金」などの制度があります。

稲美町の食材を消費されるみなさんへ

手をかけた分、しっかりと成長してくれるいちごに日々感動しています。稲美町で作られる野菜や果物は、生産者一人ひとりの手によって丹精込めて作られ、想いが詰まっています。だからこそ、消費者の方には食材を残さず食べてほしいですね。

いちご農家
福嶋 信明さん

いなみの
つながり
愛



新鮮な野菜や果物を提供してくださる農家さんへ

稲美町の食材の恵みをいかしてケーキを作っています。農家さんの手で丁寧に育てられた野菜や果物のおかげで、お菓子もおいしく仕上がり、お客様にも喜んでいただいています。これからも地元で愛されるお店として、心を込めてお菓子作りを続けていきます。

パティスリーショコランタン
荻野 拓也さん

【 SUPイベントを開催 】

県内最大のため池である加古大池では、SUPの体験教室が開かれるなど、ため池に親しむ機会が増えています。



【 有機農業推進事業 】

持続可能な農業生産をめざし、農業に頼らない稲作栽培技術の実証など、有機農業を推進しています。



ともに進める 持続可能なまち

多様な主体との協働による
特色あるまちづくり

地域のつながりが残る稲美町では、校区まちづくりの会やこども会、シニアクラブ、消防団など、年齢に応じた仲間づくり意識が住民同士のつながりの基礎となっています。このような環境は地域での暮らしやすさを生み、多様な主体による協働のまちづくりを創り出しています。

住民や地域団体、事業者などの主体と行政がそれぞれの役割を分担しながら、ともに進めるまちづくりに取り組むことで、地域の中でさまざまな「つながり」が生まれ、持続可能なまちづくりの輪がどんどん広がっています。



町長と語る タウンミーティング

稲美町の今後のまちづくりについて、住民と町長が直接意見交換を行うタウンミーティングを実施しています。



校区まちづくりの会

各小学校区内で、こころ豊かなまちづくり（生涯学習）に関わる事業を実施。地域住民が交流を深め、楽しく過ごせる活動を展開しています。まちづくり桜ウォーキングでは、桜が彩る各校区のコースを歩きます。





【いなみ冬景色】

いなみ文化の森で開催されるイルミネーションのイベント。中学生などの作品も展示されます。

【いなみ野 水辺の里公園】

東播磨地域に棲(す)む昆虫や魚など、身近な自然に触れることができる公園。冬にはホタルの幼虫を園内の小川に放流し、初夏にはホタルが飛び交う姿が見られます。



【コスモシンフォニック ウインズ】

稲美中学校、稲美北中学校の吹奏楽部のOB・OGを中心に結成し、演奏活動を行っている吹奏楽団です。

【いなみ(173)ウエディング】

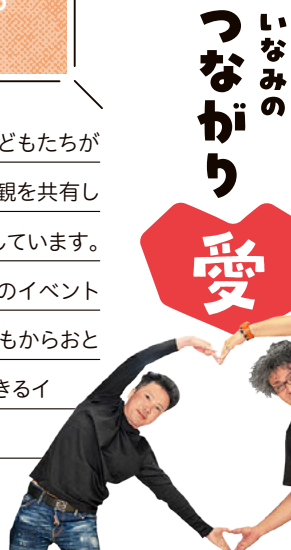
町と連携協定を結んでいる兵庫大学の学生がプロデュース。毎年カップル1組を公募により決定し、加古大池で公開型の結婚式を挙げています。



イベントに参加される みなさんへ

イベントの開催を通して、こどもたちがふるさとに誇りを持ち、価値観を共有してほしいと願いながら活動しています。「いなみ冬景色」など、町内のイベントは年々進化しています。こどもからおとなまで幅広い世代が交流できるイベントを実施していきます！

母の里まちづくりの会
英 直彦さん



イベントを運営される みなさんへ

稲美中学校創立50周年を祝うチャリティリレーマラソンに参加した時は、歴代の卒業生や在校生と地域とのつながりを感じました。町内のイベントでは、地域の人たちがとても楽しそうに参加しています。転入してきた人たちもたくさん参加してほしいです。

イベントに参加する住民
砂川 勝一さん



【にぎわい創出事業 補助金対象イベント】

地域資源を活用し、地域の活性化やまちのにぎわいを創出するイベントなどを主催する団体を支援しています。



【いなみ野ため池駅伝・ ロードレース】

加古大池を会場に、駅伝とロードレースを体育協会が実施。陸上選手を特別ゲストに加え、小学生や中学生、一般の部のランナーが疾走します。

稲美の文化

思いをつなぐ

高菰寺 鬼追式
鬼の面



高菰寺

法道仙人の開基で、四国八十八ヶ所、西国三十三ヶ所巡りができ、約200体の石仏が祀られています。



加古八幡神社

延宝8(1680)年の造営。10月に秋祭りが行われ、地元の保存会によって継承されている伝統の獅子舞が有名です。



草谷天神社

寛正3(1462)年建立。両側に杉の木が立ち並ぶ95段の石段を上ったところに社があり、菅原道真公が祀られています。



播州葡萄園跡

明治時代、欧州産葡萄の栽培とワインの醸造などを目的に開設された国営の葡萄園。井戸跡などの遺構や遺物が発見されました。なお、遺構は保存のため埋め戻しています。

国指定史跡



木箱に入って出土したガラス瓶



高菰寺 鬼追式

2月に行われ、太鼓とほら貝に合わせて二鬼が舞い、燃え盛る松明を境内に投げ入れる様子はとても迫力があります。



兵庫県
登録無形民俗文化財

国安天満神社の秋祭り



天満神社
秋祭り獅子舞

各村の独自性が際立つ獅子舞は、踊りや装飾、色彩などに特徴があり、地域の文化と伝統を象徴するものです。



天満神社 秋祭り
みこしとぎよ
御輿渡卸

10月の秋祭りで、神社から練り回した神輿を天満大池に投げ入れ、豊作と満水を祈る神事。池の中でも神輿を練り回します。



天満神社

白雉4(653)年創建。祭神は菅原道真公、弁財天、池大明神で、菅原道真公がこの地に立ち寄ったという話が残っています。

地域で守られ、
現代に息づく歴史と文化

稲美町の歴史・風土を物語る文化財や史跡としては、菅原道真公にちなんだ天神曼荼羅や天満神社、法道仙人により開基されたとされる高蘭寺、伝統の獅子舞が有名な加古八幡神社、泉州住吉大社の分霊を勧請し建立した印南住吉神社などがあり、それらは地域で大切に守られ、後世へと伝承されています。また、近代史跡として、明治政府が西日本で初めて本格的にワインを生産した醸造施設である播州葡萄園跡があり、平成18(2006)年に国の史跡として指定されました。



まんだら
天神曼荼羅

三幅の曼荼羅で、室町時代後期に制作されたものと考えられ、菅原道真公の生涯をパズル形式に配置しています。町指定有形文化財(非公開)。



印南住吉神社

印南地区の氏神として勧請。以来、地区の人に守られ、大切にされてきました。境内には愛宕神社、鹿島神社があります。

稲美町
指定文化財一覧

- ― 地蔵菩薩立像(国安)
- ― 五輪塔(国安)
- ― 宝篋印塔
- ― 地蔵菩薩立像(御旅地蔵)
- ― 『天神曼荼羅』
- ― カイツカイブリキ
- ― 葡萄園池
- ― 五輪塔(中村)
- ― 鳥居
- ― 野寺山高蘭寺鬼追式
- ― 『村方万事議定證』
- ― 『母里村難恢復史略(写本)』
- ― 『宮ノ谷以西加古郡印南新村草谷村間平面図』
- ― 淡河川疏水線路全線縦断平面図
- ― 石造阿弥陀如来座像
- ― 『寛文八年蛸草神出境界水論裁決状(絵図・裏書)』

作り手のまごころがこもった稲美の味。安全・安心を第一に生産者から送り出され、私たちにおいしさの感動を与えてくれています。町内で生産、収穫されたものやそれらを原料として加工、製造され、品質にこだわった農産物を「稲美ブランド」として認証し、その発信や普及・拡大を図るよう取り組んでいます。

まごころつながる
稲美の逸品・名品



稲美ブランド
認証ロゴマーク

ブロッコリー



ほんのり甘く、歯応えがあり、うまみが凝縮されたブロッコリー。添え野菜やお弁当の彩りに欠かせません。

いなみ野メロン



糖度13以上の厳しい基準をクリアした、肉厚で濃厚な甘みのメロン。1本の木に一つしか実をつけず、おいさを凝縮しています。

キャベツ



町で50年以上前から栽培されている冬キャベツは、国の指定産地にも選ばれています。

スイートコーン



朝採りのスイートコーンは生でも食べられるほど鮮度が抜群で、うまみが豊富。口の中で甘さが広がります。

いなみトマト



酸味と甘みのバランスが良く、ジューシーなトマト。減農薬・減化学肥料で安心して召し上がれます。

米パン



町内産のヒノヒカリを100%使用。無添加で、朝から手作りしています。学校給食にも取り入れられています。

ブラックベリージャム



町内産ブラックベリーを100%使用し、原材料はブラックベリーと砂糖のみ。すべて手作りで製造しています。

ランド

稲美のうまみ、ぎゅぎゅっと集めました！



ふるさと
納税

万葉の香

良質な堆肥(たいひ)で栽培した町内産コシヒカリ。ふっくらした炊き上がりが自慢で、町内の学校給食にも提供されています。

たべてみそ(味噌)

町内産の大豆を100%使用し、塩分控えめで手作りならではのコクと香りがつまっています。



麦みそ(むぎひめ)



米と大豆は町内産を100%使用し、大麦は東播磨地域のものを100%使用。麦の香りとつつぶ食感が特徴の一品。

稲美

日の出 純米料理清酒

日の出 純米本みりん



ふるさと
納税

ふるさと
納税

純米本みりんは上品な甘みと濃厚でコクのあるうまみを感じられます。純米料理清酒はやさしい甘みとコクにこだわり、料理を風味よく上げます。

六条の雫(焼酎)

稲美町産六条大麦を使用した兵庫県内でしか流通しない本格麦焼酎。豊かな香りと軽やかな味わいが特徴です。



ふるさと
納税



ふるさと
納税

稲美特別純米酒 山田錦(日本酒)

酒米の最高峰と呼ばれる山田錦を100%使用。やさしい口当たりで、フルーティーな香りが米の甘みを引き立てます。

ふるさと納税

稲美ブランド「いなみ野メロン」など、稲美ブランドのほかにも魅力ある返礼品が満載です。



※時期により、寄附できる返礼品が異なります。最新情報は、こちらをご覧ください。



移住者interview



加古川市内のパン屋さんで14年間働き、稲美町で独立することができました。2〜3年間、店舗兼住居となる土地を探していたのですが、たまたま稲美町を通った時、条件に当てはまる土地が見つかりました。ほどよく田舎で、カフェなどの個人経営のお店が多く、盛り上がりつつあるなと思いました。野菜や果物が新鮮で、そんな食材を使ったパンを作りたいと思います、このまちに決めたんです。

稲美町でお店を開かれた
経緯を教えてください

このまちで、
「好き」を仕事に。



VOL.1

パン工房 りとは

西村 秀将さん
西村 和花乃さん

店名の「りとは」は「A little happiness」の文字から、「パンで人を幸せにしたい」という想いが込められています。

普段の生活や
お店の経営で印象的なことを
お聞かせください

稲美町は農業が盛んで、野菜や果物がおいしいです。地元産の食材はまちの人から愛されているなと感じます。お店の面では、開業前に知り合った個人経営のオーナーさんと今も交流があり、お互いに応援しあっています。また、お客様の多くが常連さんで、あたたかくてやさしく、古くからの友人のように話せる人ばかりです。

ご自身やお店の今後について
お聞かせください

「りとは」のパンは、国産小麦100%にこだわって、クリームパンやカレーパンなどの具材もすべて手作り。その分、労力はかかりますが、お客様が「おいしい」と言ってくださるのでがんばれます。これからは稲美町産の食材をできる限り使用し、身体にやさしいパンを作り、地元の人に愛されるパン屋さんでありたいです。

Turn out delicious!



BAKERY LITOKA

UEDA GARDEN ROSE+

現在取り組まれていることを
お聞かせください

町内の若手農業者や商工会の青年部の集まりに積極的に参加しています。小学生との米作りや芋掘り体験、中学生とのイルミネーションの設営などに取り組んできました。自分も子どもだった頃、さまざまな経験をさせてもらったことを思い出しながら、今は「地域の頼りがいのあるおじさん」になることをめざしています。

稲美町出身なのですが、転職により県外で暮らしていました。その後、実家の農地で農業を始めたと思います、戻ってきました。園芸店で働いていたこともあり、花には興味がありました。農業を始めるにあたっては、JA兵庫南の「にじいろふあ〜みん」の存在がとても大きかったです。お客様とのふれあいの場を提供いただけたこともあり、稲美町で農業を始めてよかったと思いました。

稲美町に移住した
きっかけは何ですか？



稲美町での将来について
お聞かせください

夕焼けが沈む空や田んぼ道、麦畑、ため池……。どの風景も心地よく、帰ってきたくなるような気持ちになります。稲美町を離れた人が戻ってきた時に、「さびれてしまったな」「元気がなくなつたな」と思っただけではなく、自分にとってふるさとがまた、自分に、仕事や地域活動を通して積極的に関わっていききたいです。



花を通して
広がるつながり

VOL.2

うえだガーデンRose+

植田 諒介 さん

草花・バラ苗生産販売農家として、花がある生活をお手伝い。植物へのほんの小さなひと手間(+プラス)を提案。



昭和40年代



旧庁舎

昭和44年



まちの様子

稲美町

70

年のあゆみ

looking back on inami's 70year history



昭和40年代



乗合バス

昭和40年代

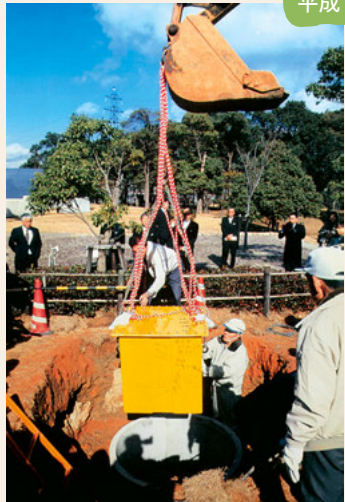
議会の様子



1980

- 昭和59年 5月 老人福祉会館（現「総合福祉会館」）竣工
- 7月 高園寺球場使用開始
- 昭和60年 4月 稲美北中学校開校
- 稲美勤労者体育センター（現「いなみ野体育センター」）竣工
- 昭和58年 4月 天満東幼稚園開園
- 11月 郷土資料館開館
- 昭和57年 4月 天満南小学校開校
- 12月 稲美町史を発行
- 昭和55年 4月 天満南小学校開校
- 昭和51年 5月 県立東播磨高等学校竣工
- 昭和53年 8月 役場庁舎竣工
- 町民憲章・町花（コスモス）・町木（もちの木）を制定
- 昭和48年 4月 天満南幼稚園開園
- 昭和50年 3月 母里・天満中学校閉校
- 4月 稲美中学校開校
- 西部隣保館竣工
- 昭和47年 5月 加古郡清掃一部事務組合（現「加古郡衛生事務組合」）の発足
- 昭和45年 4月 上水道認可
- 昭和43年 7月 ごみ焼却場完成。ごみ収集開始
- 昭和42年 2月 福田幸夫町長就任（第三代）
- 昭和40年 9月 台風23号襲来（災害救助法適用）
- 昭和38年 2月 唐木重次町長就任（第二代）
- 昭和34年 2月 加古幼稚園開園
- 昭和33年 1月 母里幼稚園開園
- 昭和32年 3月 天満幼稚園開園
- 昭和31年 4月 町章制定
- 昭和30年 3月 稲美町発足（加古村・母里村・天満村）
- 5月 大西一雄町長就任（初代）

1960



平成13年

タイムカプセル埋設式



昭和63年

万葉の森竣工

平成4年

いなみ文化の森竣工



昭和53年

役場庁舎竣工



1990

2000

- 昭和62年 2月 井上芳和町長就任(第四代)
- 昭和63年 8月 農村環境改善センター竣工
- 4月 天満大池公園供用開始
- 5月 万葉の森竣工
- 平成元年 3月 大沢池スポーツ公園竣工
- 平成2年 6月 母里福祉会館竣工
- 9月 憩いの館竣工
- 平成3年 5月 さくらの森公園竣工
- 6月 稲美斎場「ひじり苑」竣工
- 平成4年 11月 いなみ文化の森竣工
- 平成6年 10月 サン・スポーツランドいなみ(陸上競技場)竣工
- 平成7年 1月 阪神・淡路大震災
- 4月 県立東はりま水辺の里公園(現「いなみ野水辺の里公園」)竣工
- 平成8年 3月 稲美町清掃センター改築
- 公共下水道供用開始
- 7月 国営播州葡萄園遺跡発見
- 11月 農業集落排水供用開始
- 平成9年 3月 加古福祉会館竣工
- 平成10年 3月 稲美シルバークラークプラザ竣工
- 平成11年 5月 加古大池管理棟竣工
- 8月 役場庁舎新館竣工
- 平成13年 1月 母里福祉会館「さわやかホール」竣工
- 2000年から100年後の町民へのメッセージ タイムカプセル埋設式
- 平成14年 6月 赤松達夫町長就任(第五代)
- 平成15年 3月 障害者ふれあいセンター、加古福祉会館「きらめきホール」竣工
- 4月 健康支援員事業開始
- 6月 「稲美町のため池群」が文化庁の文化的景観の重要地域に選定
- 平成17年 3月 「稲美町すくすく教育特区」認定
- 4月 稲美町イメージキャラクター「いなっち」誕生
- 10月 中嶋信太郎氏に名誉町民の称号贈呈



「いなみっこ広場」竣工

令和3年



中学校給食開始

平成26年

「あいのりいなみ」本格運行開始



令和4年

野菜のモザイクアート



平成26年



「いなみアクアプラザ」竣工

平成18年

稲美町 70年のあゆみ

2000

令和7年	3月	見守りカメラを全町に設置 町制施行70周年
令和6年	3月	稲美町清掃センター解体撤去完了 旭堂南歩さんを委嘱
令和5年	10月	稲美町ふるさと大使第1号に 旭堂南歩さんを委嘱
令和5年	6月	中山哲郎町長就任（第七代）
令和5年	1月	証明書等のコンビニ交付開始
令和5年	4月	コウノトリのヒナが生まれる
令和6年	3月	稲美町清掃センター解体撤去完了
令和7年	3月	見守りカメラを全町に設置 町制施行70周年
令和3年	5月	稲美町立子育て交流施設「いなみっこ広場」竣工
令和4年	4月	稲美中央公園大型遊具の大規模リニューアル
令和3年	12月	新しい公共交通「あいのりいなみ」社会実験開始
令和2年	9月	町立幼稚園、小・中学校の教室に 空調設備を設置
令和元年	5月	令和の典拠となった歌の歌碑が 設置されていたことから 「令和ゆかりのまち」として注目される
平成30年	4月	町立幼稚園（母里幼稚園・天満南幼稚園） 3歳児教育開始
平成27年	11月	6次産業化拠点施設「にじいろふあ〜みん」 オープン
平成26年	4月	いなみ野水族園常設展示施設 「魚のおうち」開園
平成25年	1月	野菜のモザイクアートでギネス世界記録達成
平成23年	4月	中学校給食開始
平成22年	4月	親元近居新築住宅取得支援補助金開始
平成21年	4月	田園集落まちづくり事業開始
平成20年	4月	町立幼稚園預かり保育開始
平成19年	4月	健康づくり施設「いなみアクアプラザ」竣工
平成18年	7月	プレミアム付商品券発行
平成17年	10月	万葉森林浴グラウンドゴルフ場竣工
平成16年	6月	古谷博町長就任（第六代）
平成15年	1月	播州葡萄園跡が国指定史跡に指定

INAMI INFO

いなみ インフォ

美しい田園風景が広がる稲美町。
多くのため池とともに
水と緑にあふれています。



稲美町民憲章

(昭和56年4月3日告示第48号)

わたくしたちは、郷土いなみ野の美しい自然と伝統を受けつぎ、さらに時代の進展に応じ、お互いが協力して希望に満ちた住みよい町をつくるため、誇りと自覚をもって町民憲章を制定します。

- 1.わたくしたちは、お互いが教養を高め、品性を磨き心豊かな人となるよう励みましょう。
- 2.わたくしたちは、お互いが助け合って仕事に励み生活が豊かになるよう努めましょう。
- 3.わたくしたちは、心とからだの健康をはかり、年よりは尊敬し、子どもは責任をもって育て、楽しい家庭をきずきましょう。
- 4.わたくしたちは、お互いが思いやりの心を持ち、秩序を守り、進んで世のために尽くして明るい平和な町をつくりましょう。
- 5.わたくしたちは、郷土の自然と人の心を守り育て工夫をこらして輝かしい文化の町といたしましょう。



名誉町民
中嶋 信太郎さん
(1904-2007)

万葉研究家・国文学者・歌人として、稲美町のみならず県民文化の向上のために活躍されました。「万葉の森」の開園にも奔走され、稲美町の名所づくりにご尽力いただきました。

町章



稲美町の「い」を図案化し、「鋤(くわ)」と「鎌」を表しています。中央部は「稲の粃(もみ)」を意味し、まちの和と発展を象徴しています。



イメージキャラクター いなっち

稲美町の特産品である「米」をイメージし、額には町花「コスモス」、足元にはため池を配しています。



町花 コスモス

晩夏から秋にかけて素朴で清楚な花を咲かせます。性質はきわめて頑健で野生状態でも見事に開花する強い草花です。



町木 もちの木

町内の山林に自生。常緑の高木で、雌株には深紅のかわいい実がすずなりに生り、植木として親しまれています。

私たちのふるさとを舞台に
70年という歩みの中で
育まれてきたさまざまな
愛のかたち。
時代が移り変わっても
まちの風景や姿が変わっても
大切なものは変わらないことに
気がつきました。
「愛」変わらず、いいところ。いなみ。
これからもずっと。



ごあいさつ



稲美町長

中山 哲郎

稲美町は、令和7(2025)年3月31日に町制施行70周年を迎えました。

昭和30(1955)年に加古村・母里村・天満村の3村の合併により、稲美町として誕生して以来、さまざまな変化に対応するため皆様のお力を結集し、今日までのまちの発展につなげてまいりました。多くの先人の皆様、そして住民の皆様のお力添えのもとにこのような素晴らしい節目の年を迎えることができましたことに、心から深く感謝を申し上げます。

稲美町には、人情深い人柄の方が多くだけでなく、豊かな田園景観や歴史、文化など、大変貴重な資源が豊富にございます。この輝かしい資源を次代につなぐとともに、こどもからお年寄りまでのすべての住民の皆様が快適に安心して暮らせるよう、ともに力を合わせ、未来に向けたまちづくりを進めてまいります。





稲美町制施行70周年記念要覧

発行年月:令和7(2025)年8月

発行:稲美町

〒675-1115 兵庫県加古郡稲美町国岡1丁目1番地

TEL:079-492-1212 FAX:079-492-5162

<https://www.town.hyogo-inami.lg.jp/>

